

【本件リリース先】  
平成 27 年 10 月 30 日(金)15:00  
文部科学記者会、科学記者会、  
原子力規制庁記者会(仮称)、  
茨城県政記者クラブ、  
福島県政記者クラブ  
いわき記者クラブ、いわき記者会



平成 27 年 10 月 30 日  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
廃炉国際共同研究センター

## 第 1 回 CLADS 廃止措置研究国際ワークショップの開催について (取材案内)

日本原子力研究開発機構は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の安全な廃止措置等を推進するため、国内外との研究協力を進めています。

廃炉研究を加速するためには、国内外の英知を集結し、現状のニーズや将来予想される課題について認識を共有し、基礎基盤から実用に至る研究開発を強化する必要があります。廃炉国際共同研究センター(CLADS)が開催する本ワークショップは、「福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた国際研究協力」を副題とし、国内外の専門家を交えて今後の国際協力の進め方等について情報の交換やご意見を賜り、今後の廃止措置研究の促進を図ることを目的として、下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 開催概要

- (1) 日 時 : 平成 27 年 11 月 10 日(火) 10 時 00 分~17 時 30 分
- (2) 会 場 : 東海村研究交流プラザ 多目的ホール  
(いばらき量子ビーム研究センター2F)  
(茨城県那珂郡東海村白方 162-1)
- (3) プログラム : 別添参照(本ワークショップの主体使用言語は英語となります。通訳はございませんので予めご承知おき下さい。)

#### 2. 取材申し込み方法 : 別添参照

以 上

#### 【本件に関する問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
廃炉国際共同研究センター(CLADS)  
研究推進室  
担当: 上原、神田  
電話番号: 029-287-9682(ダイヤルイン)

## 1. プログラム

- (1) 挨拶 (10分)  
小川 徹 (廃炉国際共同研究センター長)
- (2) CLADS 研究開発の現状紹介 (45分)  
各ディビジョン長 (廃炉国際共同研究センター)
- (3) 招待講演
- 廃止措置現場のニーズ、廃炉研究への期待(仮題) (45分)  
傳田 康貴 (東京電力株式会社福島第一廃炉推進カンパニー) (45分)
- 廃炉に関する基礎基盤研究、大学の役割(仮題)  
鈴木 俊一 (東京大学大学院工学系研究科 特任教授)
- (4) テクニカルセッション
- ① 1F デブリ取出しに向けた事故進展挙動解析 (100分)
- Present knowledge on severe accident progression behavior in BWR and status of evaluation means  
Chris Allison (米国 イノベーティブシステムズソフトウェア合同会社 本部長)
  - R&D activities of CLADS on severe accident progression and fuel assembly degradation  
倉田 正輝 (廃炉国際共同研究センター 事故進展挙動評価ディビジョン長)
  - Views on issues related to Fukushima Daiichi understanding and decommissioning, research and analysis of relevance at IRSN and identified knowledge gaps  
Didier Jacquemain (フランス 放射線防護原子力安全研究所(IRSN) 部門長)
- ② デブリの取出し・保管に向けた性状評価 (100分)
- Dust control and LFCM weathering in Chernobyl NPP (title, TBD)  
Krasnov Viktor (ウクライナ科学アカデミー原子力発電所安全問題研究所 ディビジョン長)
  - Characterization of TMI-2 debris and damaged fuel for storage and waste management perspective  
Rondinella Vincenzo (欧州共同体超ウラン元素研究所 ユニット長)
  - R&D activities of CLADS on fuel debris characterization for debris removal and storage  
鷺谷 忠博 (廃炉国際共同研究センター 燃料デブリ取扱・分析ディビジョン長)
- (5) 閉会挨拶、まとめ (10分)  
木村 貴海 (廃炉国際共同研究センター長代理)

## 2. 取材申し込み方法

取材を希望される方は、11月6日(金)16時までに別紙にてFAXでご一報いただけますと幸いです。

日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門  
廃炉国際共同研究センター 研究推進室  
担当:上原、神田  
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村白方白根 2-4  
TEL:029-287-9682(ダイヤルイン)  
FAX:029-282-6787

(別紙)

平成 27 年 月 日

「第1回 CLADS 廃止措置研究国際ワークショップ」

<取材申込書>

送付先:

日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 廃炉国際共同研究センター  
研究推進室 行

(FAX 029-282-6787)

御社名 \_\_\_\_\_

(連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ )

取材者氏名

所属	氏名

- (1) 使用言語は英語で、原則として通訳はありません。
- (2) 取材を希望される方は、11月6日(金)16時までに FAX でご一報いただけますと幸いです。